

2022年度 活動方針の件

1. 協会内の運営安定化を目指した取組み(継続)

コロナの影響で事業が中止になり、事業収入源が少なく、協会の大きな柱となる国の助成金で成り立っているため、東京オリンピック、東京パラリンピック以降の国の財政が縮小傾向になる見込みがあります。

資金調達面の強化を2022年度も引き続き重点的に取り組んでまいります。

- (ア) 協会財政運営の見直し
- (イ) 協賛企業・支援団体の獲得
- (ウ) 自主財源の確保(クラウドファンディングやグッズ等)
- (エ) デフバドミントンの認知度向上を目指した取組

上記内容を通じた資金調達を行い、協会運営の安定化を図ってまいります。

2. デフバドミントンの認知度向上を目指した取組み(継続)

選手強化合宿や国際大会遠征など、大会の主役である選手や、サポートスタッフが自己負担しなければいけない状況が以前より続いています。国際大会で活躍できる選手育成に必要な資金を確保・金銭的不安を和らげるために、多くの支援が必要不可欠であります。また、国内でバドミントン活動をされている聴覚障害者の方もコミュニケーションがスムーズに取れないことを理由に聞こえる方と一緒に練習できる環境にないことも多く伺っています。そんな状況を打破すべく、まずは「デフバドミントン」のことを社会に広めていき、理解と支援をしていくための活動に本腰を入れて取り組んでまいります。そこで、2022年度は以下の活動をしていく予定でいます。

- (ア) クラウドファンディングプロジェクトを通じた活動の紹介
- (イ) メディアを通じた選手強化合宿などの活動紹介
- (ウ) 聴覚障害者と聞こえる人が一緒に出場できる「オープン大会」の開催
- (エ) 協会ホームページのコンテンツ充実化による活動の紹介

3. 第25回夏季デフリンピック(2025年)で活躍できる選手の育成(継続)

第25回夏季デフリンピック(2025年)でのメダル獲得を目指し、選手強化事業の見直しを進めながら日本代表選手の強化を進めてまいります。

- (ア) バドミントンのプロチームとの合同練習による更なる選手強化の実現
- (イ) 手話通訳スタッフ体制強化による聞こえる人と選手間のコミュニケーション強化の実現
- (ウ) 国際大会など大舞台でも動じないメンタルを身に着けるための取組み

4. 次世代を担う選手の早期発掘と育成環境の整備(継続)

昨年度に引き続き2022年度も行っていきます。しかしながら、ユースチームの選手数が減少しているため、新規選手発掘・情報収集を行っていきます。